

キャラクター名
響野 愛(ひびの あい)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ウロボロス	ワークス	アンチヒーロー	カヴァー	警察官
オプション		年齢	27	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	42 %
出自	姉妹	経験	伝説	邂逅	ビジネス：神月正義

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1		0			1	行動値	7
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	9
精神	3		0			3	戦闘移動	14
社会	2		0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達	4	
運転：二輪	1		芸術：			知識：			情報：ヒーロー	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：ヴィラン	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(99)バイク+マルチ縮地>ハヴィ+デイス+コンセ	白兵	8r+2		41		侵(6)+2+7
(100)ロホ+マルチ縮地>ハヴィ+デイス+コンセ+フェイタル	白兵	9r+2		45+4D		侵(6)+2+7+6
クリスタルシールド		-1	12	0		
(盾攻撃)縮地>デイス+コンセ	白兵	10r+2		30		侵2+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アーマーコスチューム		8	-1	-2	常時、HPダメージ-3。

所持品	
メモリー：目黒 紗雪	
ヒーローズクロス	
カテゴリ：トップヒーロー	
パワーソース：ピサイド	
スポンサー(ヒーローズクロス有)	
バッドカンパニー	
コネ：要人への貸し	

合計装甲： 8 合計回避： -1

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
イクスヴィラン	P	N		
御剣祥耶(魂央会長)。シナリオロイス	P	N		
神月正義	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
原初の青：ヴィークルモーフィング	4	3	マイナー	自身	至近	自動		
効果：	ヴィークル作成。ロボの技能は〈二輪〉							
マルチアクション	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	Lv回。エフェクト以外のマイナーアクションをする							
縮地	5	2	オート	至近	自身	自動		
効果：	Lv回。任意の位置に移動。離脱可							
バックスタブ	6	-	常時	至近	自身	自動		
効果：	縮地後、攻+[Lv×5]。Lv上昇しない							
原初の赤：ヘヴィギャロップ	1	3	メジャー	至近	単体	白兵		
効果：	-[3-Lv]D。白兵でヴィークルの攻撃力を参照							
ディストーション	1	2	メジャー	-	-	白兵		
効果：	【社会】で判定する							
コンセ：オルクス	3	2	メジャー	-	-	シンド		
効果：	例のアレ							
要の陣形	1	3	メジャー	-	3体	シンド		
効果：	Lv回。対象を3体に変更							
原初の黒：フェイタルヒット	3	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果：	ダメージ+[Lv]D							
EF：写真記憶	★	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果：	見た物は全て覚えている							
地獄耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果：	領域内の物事全てを見聞きする							
道化の出し物	★	1	オート	至近	自身	自動		
効果：	エフェクトの見た目を偽装する							
闇夜の鴉	★	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果：	影に隠れる。影が完全に消えると無効になる							

「非道に裁きを届けるもの グレイネメシス」(通常)
「夜より生まれし死の化身 グレイネメシス」(オルタ化)

「この件はオーヴァードの関与が濃厚となった。非オーヴァード諸君は内動にて情報収集に当たれ。オーヴァード諸君は装備点検後ツーマンセルで所定の行動に移れ。何か質問は？……なければ以上だ、散会」
「真い飯でも食べるだけ幸せだ。……もし、立ち上がるなら、それすら出来なくなるぞ」

あたしは戦災孤児だった、らしい。
孤児院で同じ年の目黒紗雪と知り合った。あたし達は姉妹のようだった。
中学生になった頃から、あたしは孤児院を抜け出し、夜の街を徘徊するようになる。理由は、心配をかけたかった、とかそんなつまらない理由だったはずだ。
紗雪は、そんなあたしを窘めていたが、程なく心配してついてくるようになった。
そんなある日、紗雪が、野良犬のように転がっていた傷ついた少年を助けた。それが御剣祥耶だった。
その頃から3人ずつるむようになった。
……いつの間にか紗雪と祥耶は付き合っていたのだが、それを紗雪から聞いた時は妙に納得したし、安心した記憶がある。

祥耶は年下だったが、そのカリスマ性は本物で、気づけばチームが出来ていた。
ヴィランテというにはカオスが過ぎる、殆どヴィランのような組織ではあったが、堅気は殴るなと言う祥耶の元、ヴィラン同士の抗争に明け暮れていた。

ある日、集会をしていると突如現れたヴィラン達から機関銃による掃射を受けた。
あたしは紗雪を庇ったが……2つのはずの肉の塊が1つになっただけだった。
銃声が止み、ヴィラン達が快哉を叫んだ。「外岡のアニキに逆らうからそうなるんだよ、へっへっへ」

